



あべこー県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

千葉市稲毛区特集

千葉市稲毛区選出で、市議1期、県議4期を務め、県政界でも特段の厚い信頼を集めている阿部紘一(あべ・こういち)県議は、12月県議会でも一般質問に登壇し、県の長期計画である千葉県総合計画への取り組みをはじめ、土地開発公社の抱える塩漬け土地について、県民に負担をかけない形で早期解消や、審議会への女性委員の積極登用など、常に県民の立場から生活者の視点で論陣を張りま

した。阿部県議は、議会の中でも誠実で実行力があり、稲毛区のため、千葉市のため、千葉県のためにも、なくてはならない存在とその評価を高めています。今議会でも、高齢者介護問題、中小企業下請け取引の適正化問題など、弱い立場の県民の目線から県行政の考え方を質しています。主な質疑を1、2面で特集しました。

12月県議会一般質問



県民主役の県政実現へ積極登壇

挑む戦論 生活者の視点から

特集は個室と多床室併設へ

阿部議員 平均寿命が延び、高齢者にとって介護が必要となる、あるいは、あるいは、なった場合、どこに安住の地を求めるかが大変重要になりま

す。県は、特別養護老人ホームの整備状況は、整備中のものも含めて、1万5547床で、個室が約3割、多床室が約7割となっています。千葉県では、今年度から低所得者やその家族に配慮して、個室と多床室との併設による施設整備を行うことができるようにしました。

戸谷健康福祉部長 本県における平成20年度末の特別養護老人ホームの整備状況は、整備中のものも含めて、1万5547床で、個室が約3割、多床室が約7割となっています。

審議会での女性登用促進を

阿部議員 県は、審議会の見直しに取り組むとのことですが、審議会を設置する本来の意義をどう考え、何をいつまでに、どのように見直していくのか。

小宮総務部長 審議会は、県の政策立案過程をより公正で、公平なものとするとともに、各委員がもつ専門的な知識などを基に幅広い意見交換をしていただくことに、意義があると考えています。

これまで各審議会のヒヤリング調査を進めてきたところですが、①開催日数が少ないなど、活動が活発でな

原則として、多床室を定員の50%以内としています。が、地域の実情や利用者のニーズに応じて、柔軟に対応してまいります。

阿部議員 昨年3月、群馬県渋川市で高齢者が居住する施設で火災が発生し、10人の方が犠牲になる痛ましい事故が発生しました。

無届け有料老人ホームは、県内で何施設あるのか。今後、どのように指導していくのか。

戸谷健康福祉部長 県は本年4月、無届け有料老人ホームとして把握していた44施設に対する緊急点検を

加したものの、登用が進んでいないとは言えない状況です。この原因としては、分野によって女性の人材がまだ少ないこと、団体等の役職についている女性も少ないといったことが挙げられます。

県では、委員を委嘱する際に、推薦団体等に対して、女性の推薦を働きかけるとともに、女性人材リストを作成し、人材の発掘・活用を呼びかけているところで

す。今後、さらに団体等の理解と協力を得ながら、女性委員の登用促進を図ってまいります。

初心忘れず、県民の幸せ実現に汗！

塩漬け土地早期解消の方策質す

阿部議員 県は、公有地先行取得を公社に依頼する際、塩漬け土地にならないよう、その必要性や再取得の見通しなどについて、慎重に検討・協議していくべきではないか。

橋場県土整備部長 県が、道路用地や都市計画施設用地の先行取得を公社に委託するに当たっては、毎年、国の概算要求、県の予算状況、再取得の時期等を考慮し、公社と協議しつつ、委託事業を決定しています。今後とも、再取得計画と十分調整を図ってまいります。

阿部議員 今後、景気が良くなるまで塩漬け土地と

言われる公有地をそのままにしておくのか。解消のめどはあるのか。

橋場県土整備部長 公社が長期にわたり保有している公有地については、再取得計画に従って、再取得を進めているところです。今後とも事業の進捗状況や財政状況等を踏まえ、公社とも協議の上、事業計画を明確化し、早期の解消に向けて一層努力してまいります。

政策評価制度の機能充実を

阿部議員 現在策定している総合計画に合わせ、政策評価制度を見直し、その機能をより充実させていくべきと思うが、どうか。

小川企画部長 現在策定中の総合計画は、10年後の本県の目指す姿と、これを實現するために3カ年で重点的に取り組む政策・施策をまとめたもので、適切に

評価できるよう制度の見直しを行っているところです。

具体的には、これまでの政策評価制度の実績を活用し、総合計画の実施結果などを分析・評価し、分かりやすく公表することとしています。また、課題のある取り組みについては、今後の対応方法を検討し、3カ年の進捗管理ができるよう

地域公有化土地」、その他「柏市公有地」、平成24年度までの「こんぶくろ池公園用地」、そのほかにも都市計画道路用地とあるわけですが、県は公社と塩漬け土地にならないよう再取得計画の存続、廃止を含めて検討を要望しておきます。

下請け適正化に努力

阿部議員 県内中小企業の取引適正化について、県はどう取り組んでいるのか。

高橋商工労働部長 千葉県産業振興センターに専門相談員を配置し、下請け中小企業への取引あせんを行うとともに、苦情等の相談に対し、アドバイスするなど取引適正化に努力しています。昨年4月には、同センター内に「下請け駆け込み寺」を開設し、弁護士無料相談などの体制整備を図りました。

阿部議員 不適切な下請け取引を行っている親企業に対して、県は直接対応すべきと思うが、どうか。

高橋商工労働部長 県としても、下請け中小企業の立場に立った取り組みが重要だと思っています。相談等がその後どうなったかを把握することは、大切なことだと認識しており、相談等の解決状況の実態把握に

努めたいと考えています。その上で、不適切な取引が解決していない場合には、まず個別の意向をよく認識し、県の直接的な対応が求められるケースを想定し、県としても親事業者に対して、問題解決に向けて、いかなる対応が取れるか検討してまいります。

稲毛区の皆様には、お元気で輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

私は市議1期、県議4期を務めさせていただき、本年で議員在職19年目に入りました。この間、私の政治活動に温かいご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。今、私が県政の場で仕事ができますのも、ひとえに皆様の厚いお力添えのおかげと存じます。

私は、皆様あつての私です。皆様の声を県

政に誠心誠意、かつ着実に反映させることが議員としての務めです。皆様がお寄せくださいましたご意見やご要望、すなわち医療、福祉、環

みや、ホームページでご報告させていただいている通りです。大好きな「千葉」、愛する「千葉」を、さらに誇りを持てる、安心・安全な、住みやすい

あべこう一 県政への私の覚悟

境、教育、行財政改革等を積極的に取り上げさせていただき、県の考えをただしてまいりました。その成果は、私の県議会レポート（新聞折り込

「千葉」にしていく。それが、私の使命です。県政の主役は県民の皆様であり、皆様のさらなる幸せ実現のために県政はあります。そして県議

平成22年元旦
阿部 紘一



一般質問に登壇した阿部紘一県議

県政改革へ全力投球!!

県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください
あべこう一 県事務所
〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401
TEL 043-287-8595
FAX 043-285-2192

阿部 紘一 検索

ホームページ

<http://abe-koichi.com/>